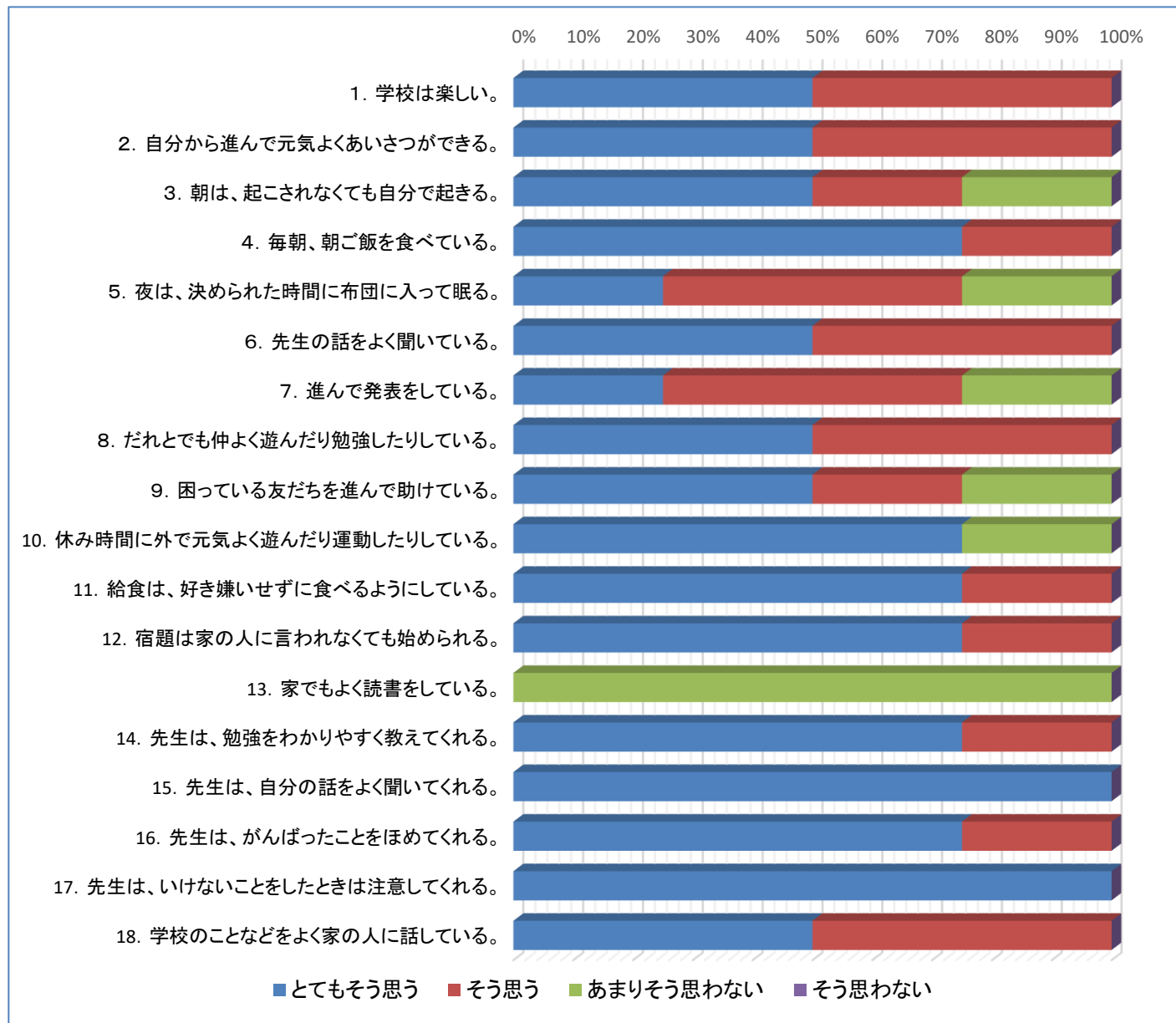


令和6年度 江原北小学校 学校評価（児童アンケート集計結果）



考 察

全児童がすべての項目において「とてもそう思う」または「そう思う」と回答するように全教職員で取り組んできた結果、ほとんどの項目で達成できた。しかし、6項目で「あまりそう思わない」と答えた児童がいた。

最も課題となるのが「13 家でもよく読書をしている。」という項目である。「あまりそう思わない」が100%となった。学校では読書タイムの設定や校内ビブリオバトルの実施を通して読書活動に取り組んできたが、読書習慣を身につけるまでには至らなかった。読書は、主体的に学ぶ力や表現力等を身につけるのに欠かせない。来年度、取組をさらに工夫し、読書習慣の定着を図りたい。

また、言語活動を重視した授業を行い、表現力の向上に努めてきたが、「7 進んで発表をしている。」の回答にあらわれているように、全児童の意欲を喚起することは難しかった。タブレット端末を活用した発表形式も加え、児童が方法を自由に選びながら自分の考えを表現し、主体的・対話的学びの実現に向けて授業改善の拡充に努めていきたい。

さらに一人ひとりの児童理解に努め、学力向上、体力向上、生徒指導等の取組について、教職員全体で不断の見直しを行い、常に共通理解を図りながら改善への取組を一層推進していく。江原北小学校の良き伝統を受け継ぐとともに、未来の社会を形成していく児童の基礎的な能力や資質の育成に向け、家庭・地域との連携をさらに深め、今まで以上に精力的に取り組む。